

第1号議案 令和4年度事業計画に関する件

I 運営方針

本公社は、設立以来市勢進展と市民福祉の向上に寄与してきた。東日本大震災からの復興においても、被災者の住まいの安定という大きな役割を果たしている。

公益財団法人としての財務基準の遵守と、事業環境の変化への柔軟な対応により堅実な経営基盤の確立に努め、平成30年3月策定の「経営の基本方針」及び「中期経営計画2018」に基づく事業運営に取り組んでいる。

令和3年度には、主たる事業である仙台市営住宅等及び共同施設の管理業務等に関して、指定管理者として新たな指定管理期間(5年間)を開始し、鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備事業の支援はもとより、速やかな住戸供給のための修繕状況等空室住戸情報の一元管理や、居住環境改善のため設備機器の更新に向けた「設備・機器監視保全業務事業計画書」を作成するなど、求められる役割を確実に果たしてきた。

公益目的事業の自主事業であるコミュニティ事業においては、地域活動助成事業及び安全安心見守り事業を継続しつつ、入居者の孤立を防止し入居者の安全・安心と地域コミュニティの活力の向上を目指していく。

交通安全事業については、「仙台市自転車の安全利用に関する条例」を踏まえ、公社ならではの特徴を活かした、仙台市の事業展開における公社の役割を明確にした、効率的な事業展開が図られるよう、引き続き市と協議し取り組む。

収益事業については、駐輪場・駐車場等の施設管理業務を確実に遂行し、自主事業の財源となることも踏まえ、事業効率化の検討を継続し、収益向上を図る。

公共性が高く、個人情報を取り扱うことも多い公社業務を、ミスの発生防止はもとより、業務の質を確保しつつ確実に遂行するためには、体制の整備が不可欠である。

過年度において整理した、今後の事業展開に必要な中長期の職員構成の検討結果をもとに、採用・配置等職員の管理について、仙台市の協力のもと、より適正かつ計画的に行う。

コミュニケーション能力向上などの研修やBCP訓練などを引き続き実施し、リスクマネジメントシステムの改善や業務マニュアルの定期的点検など、ガバナンス機能の強化を進める。あわせて、国の働き方改革に関連した法律改正に伴い、職場におけるハラスメント防止対策及び育児・介護休業に関する改正を進めるとともに、公社の今後の新たな取り組みや、業務改善について検討するなど、職員の業務遂行能力の向上を図る。

以上、今後とも新型コロナウイルス感染症対策にも努め、組織・職員一丸となり積極的に事業に取り組んでいく。

II 令和4年度事業計画

1 事業の実施方針

●市営住宅等入居者の快適な生活環境の支援

指定管理業務を着実に実施することに加えて、見守り活動の実施や自治会等が行う地域活動への支援を通じて市営住宅入居者が快適に安心して暮らせる生活環境づくりを支援する。

●人と自転車が共存する快適な交通環境の創出支援

仙台市営駐輪場の総括管理及びJR駅周辺駐輪場の運営管理を行うほか、自転車利用のルール周知やマナー向上の啓発事業を実施し、快適な交通環境の創出に向けた支援を行う。

●市有地の有効活用による市民の身近な暮らしの利便性向上

遊休市有地を活用した駐車場事業を実施し、市民の暮らしの利便性向上に寄与する。

●人材育成と職場環境向上による組織の活性化

より質の高いサービスの提供と公社としての付加価値の創出ができるよう、職員の意識改革及び働きやすい職場環境向上による能力の発揮に努め、組織の活性化を図る。

(1) 公益目的事業 <予算額 868,299千円>

ア **公1事業** 「地域居住環境及び快適な生活環境の増進に資する事業」 <予算額 864,480千円>

市営住宅等の指定管理業務を適切に行うことにより、被災者や住宅に困窮している方々が安心して暮らせる環境づくりを推進する。また、見守り活動や地域活動支援など自主事業を実施し、高齢者福祉の増進や地域コミュニティの推進に寄与する。

① 市営住宅等管理 <予算額 861,262千円>

市営住宅等 11,773戸及び各共同施設の募集、収納、設備・機器監視保全、風呂設備設置、住戸内バリアフリー化事業支援、相談等の管理業務を行う。

住宅内訳：市営住宅(9,088戸)、復興公営住宅(2,660戸)、仙台駅東再開発住宅(25戸)

募集戸数：650戸以上

収納率：98.6%以上

風呂設備設置：400戸

② コミュニティ事業 <予算額 3,218千円>

市営住宅入居者の安全・安心で暮らしやすい環境を形成するため、単身高齢者を対象に訪問し、救急医療情報キットを配付確認するとともに見守り活動を行うほか、環境美化活動や交流イベント等を行う自治会等の地域活動団体への支援を行う。

イ **公2事業** 「交通環境の向上による快適な生活環境の増進に資する事業」 <予算額 3,186千円>

自転車利用のルール周知やマナーの向上を図るため、市内の小中学生への自転車運転教本の配付やキャンペーンなどの啓発活動等を実施する。

- ウ **公3事業**「先行的視点から行うまちづくりの促進に資する事業」〈予算額 633千円〉
七郷中学校の適正な資産管理を実施する。

(2) 収益事業

- ア **収1事業**「都市関連施設の運営管理事業」〈予算額 188,675千円〉

仙台市より受託している駐輪場の運営管理や住宅管理を行う。また、公共用地等を活用した駐車場の運営を行う。

- ① 駐輪場運営（市営駐輪場の総括管理・運営管理等）〈予算額 127,021千円〉
仙台市営駐輪場の総括管理及びJ R 駅周辺駐輪場の運営管理を行う。（69箇所）
- ② 駐車場運営 〈予算額 54,625千円〉
市有地借用の月極駐車場の運営を行う。（28 箇所）
- ③ 新田住宅管理 〈予算額 7,029千円〉
青葉山公園整備事業の移転先である住宅及び共同施設の管理業務を行う。（40戸）